



## 似顔で笑顔、幸せの鐘が鳴る 真幸駅 (宮崎県、JR肥薩線)

[▶ バックナンバー](#)

福岡県から家族と来た男の子を描く小山順子さん(左)。その奥のホームに「幸せの鐘」がある=上田頼人撮影

拡大



拡大

[PR]



がこもる。(岡山朋代)

### 沿線ぶらり

JR肥薩線は、八代駅(熊本県八代市)と隼人駅(鹿児島県霧島市)を結ぶ124.2キロ。小山さんが真幸駅で似顔絵を描くのは主に[土][日]。1回500円~。

真幸~矢岳間の車窓は、長野県の篠ノ井線と北海道の根室線旧線に並び日本三大車窓の一

「今から目を描きますね。私の目を見て」。旅行者と朗らかに会話しながら筆ペンを走らせること10分。似顔絵に瞳を入れる段になり、小山順子さん(58)の柔らかな表情が真剣味を帯びていく。宮崎県えびの市の真幸駅で似顔絵描きを始めて、2年になる。

観光列車「いさぶろう」が到着し、静かなホームがにぎやかになった。目当ては「幸せの鐘」。鳴らすと幸せになると口コミで広まり、乗客たちが駆け寄り、鐘を鳴らす。

小山さんは、まちを元気にしようと地元の主婦たちでつくった「真幸駅友の会」のメンバーだ。列車が着くとみんなで大きく手を振り乗客を迎える。「真幸によこそ!」「今日はどちらから?」

おらかで、パワフル。だが、リウマチを発症した5年半前は、泣き暮らしていた。

「得意の似顔絵で、私を喜ばせてよ」。娘の一言で、再び前を向いた。熊本県人吉市内の病院で患者を描いてみたら、喜ばれた。「病気の私が、似顔絵で人を笑顔にできるなんて」

4月のある日曜日、熊本市に住む看護師の「みかげ」さんが似顔絵を描いてもらっていた。小山さんが「じゅんぺい」の名でつづるブログでその活動ぶりを知り、「会ってみたい」とやってきたのは今年の夏。この日は3度目だった。

多くの人に真幸駅を知ってもらい、リピーターを増やしたい。ペンを握る右手に、力

つに数えられる。雄大なえびの盆地の先に広がる、韓国岳（からくにだけ）を主峰とした霧島連山は圧巻だ。

人吉～吉松間を走る観光列車いさぶろう・しんぺいでは、乗務員の案内付き。前・後退を繰り返しながら坂を上るスイッチバックを体験できる。

### 興味津々

真幸駅入場券は「真の幸せに入る」と人気で、結婚式の引き出物にも添えられる。1枚200円。真幸駅友の会が活動する〔土〕〔日〕〔月〕〔祝〕の〔前〕10時～〔後〕3時に販売。人吉駅では窓口販売（160円、しおりなし）と郵送サービスも（要切手代）。電話人吉駅（0966・22・4011）。

 [トラベルトップへ](#)

 [朝日新聞デジタルトップへ](#)